

町指定文化財

22 玉松山 祐福寺 所蔵 不動明王像



名古屋市博物館撮影

(赤外線写真)

右手に三鈷柄剣（さんこづかけん）、左手に羂索（けんさく）を持つ不動明王が岩座の上に立っています。通常、不動明王の左右に配される侍者である制吒迦童子（せいたかどうじ）と矜羯羅童子（こんがらどうじ）を本図では画面右側にまとめ、画面左側に不動明王の剣の化身である俱利伽羅龍（くりからりゅう）を独立して描いています。不動明王は、祐福寺中興の祖、達智上人（1389年没）の念持仏であると伝えられております。制作年代は二童子の容貌表現から室町時代と推定されています。